

---

## (6) アジア防災センターの設立

このような経緯を経て、日本政府がアジア防災センターの組織や運営経費等について関係各国と協議を重ねた結果、アジア防災センターは地元兵庫県の協力も得て、1998年7月30日に兵庫県神戸市に設立されました。

### 1-2 組織及び体制

アジア防災センターは当初メンバー国が22カ国、アドバイザー国が4カ国及びオブザーバー1つによって構成されていましたが、2000年8月にアルメニア、2002年7月にキルギス、2005年7月にパキスタンが加盟し、現在メンバー国は25カ国となっています。また、2004年3月にアメリカ合衆国が、5番目のアドバイザー国となりました。

### 1-3 活動方針とこれまでの活動内容

#### 1-3-1 活動方針

アジア防災センターでは、基本的な活動方針を以下の通りとしています。

##### (1) 防災情報の共有 (Information Sharing)

- ①ホームページを通じた最新災害情報・メンバー国防災情報・グッドプラクティス・多国語防災関連用語集などの提供
- ②GLIDE (世界災害共通番号) の推進
- ③国際会議の開催 等

##### (2) メンバー国の人材育成 (Human Resource Development)

- ①防災セミナー・研修の開催
- ②外国人研究員招聘プログラムの実施 等

##### (3) コミュニティの防災力向上 (Building Community Capabilities)

- ①コミュニティ・住民参加を促すツールの開発・普及
- ②NGO アジア防災・災害救援ネットワーク ADRRN (Asian Disaster Reduction & Response Network) への支援 等

#### 1-3-2 これまでの活動内容

アジア地域の国際防災協力拠点として幅広く活動するためには、まずは、組織の存在を広くアピールし、関係国及び関係機関との協力関係を樹立していくことが、何に